

政経倶楽部

政経倶楽部とは

「1000人の坂本龍馬」を育て
地域から「日本創生」

●経営者の決断力・行動力で「日本創生」●

平成22年6月17日

一般社団法人 政経倶楽部連合会

政経倶楽部とは

「1000人の坂本龍馬」を育て、「日本創生」を目指しています

今、日本を変えなければ日本の未来が危ない。政治家や官僚をはじめ誰もが責任を取らないこの時代に、日々の業績や自分の行動に責任をもって必死に戦っている中小企業経営者こそが中心になって積極的に政治を変えていこう。そして政権交代を実現し、適正な政権交代可能な政治システムを作ろう。そんな思いで2004年6月、政経倶楽部は創設されました。

発足以来、6年。昨年9月には、政権交代が現実のものとなりました。しかしながらこれで、政経倶楽部の目的が成就されたわけではありません。リーマンショックをはじめとする世界不況を経験した現在、私たちは、従来のアメリカ型資本主義の終わりを体感しています。これは経済だけに限りません。政治・社会システムにおいても格差などを広げたその病弊は深く、このままでは、これからの日本の自立と成長を支えることは困難になってきています。

政治・経済・金融・安全保障・外交・資源・食糧自給・少子高齢化・年金医療・教育・治安など、あらゆる分野で大きな問題を抱えた日本。政治主導を掲げ政権交代を実現しながら、指導力不足を露呈した政権は早くも首相交代を余儀なくされました。国民に約束したマニフェストの実行すら覚束なくなっています。私たちはこのような政治家に、日本の今を、そして明日を任せていくわけにはいきません。

このままでは子供たちに安心して暮らせる日本を残すことができない。心から誇れる日本を取り戻すことができない。今、日本は未曾有の危機に瀕しています。

しかし、私たち政経倶楽部は、この危機を大きな転機、再生のチャンスと捉えています。日本を危機から救うのは、それを解決する志と能力を持った私たち政経倶楽部しかありません。危機からの「日本創生」は私たちに与えられた使命です。

私たち政経倶楽部は、新しい日本の政治・経済・社会システムを構築し、「日本創生」を実現するための機関として、新たに「日本政経連合総研」を立ち上げました。当会主席顧問である林英臣氏を中心に、閉塞した日本の政治・経済・社会システムを打ち破り、新しい21世紀の日本を形作る新しい政治・経済・社会システムを作り上げます。その礎となる人材の育成を計っていきます。

また、組織を強固にするため、志ある仲間を日本全国から集めています。必要に応じ地域支部を設け、「日本創生」を担う志ある多くの仲間作りを進めます。一般社団法人「政経倶楽部連合会」は、日本の未来を構築する21世紀の新しい政治・経済・金融・社会システムの創造を目的に、その担い手として「1000人の坂本龍馬」を育てます。「1000人の坂本龍馬」を世に出すことにより、「日本創生」を現実のものとしていきます。

政経倶楽部の3つの基本理念

政経倶楽部（一般社団法人 政経倶楽部連合会）は、下記の3つを国家の基本理念とし、日本の創生をめざす団体です。この「3つの基本理念」のもと、「心の時代」にふさわしい理想・哲学を探究し、世界のリーダーたる誇り高き「日本」の創生に取り組んでいます。

「3つの基本理念」とその概略は、以下の通りです。

- (1) 相手を認め互いに必要としあう「共生文明の創造」
- (2) 国民の意識レベルを向上させる「高德国家の建設」
- (3) 世のため人のために働ける「公益経済の確立」

(1) 相手を認め互いに必要としあう「共生文明の創造」

21世紀は、「共生文明」の時代です。「競争社会」から「共存社会」へのパラダイムシフトです。この「共生文明」においては、「全体から見てどうなのか」を考える東洋的全体観が求められます。「勝ち組」「負け組」を生んだ、人と人、人と自然、国と国、東洋と西洋、物質と精神という、これまでの二元的・対立的な発想は改めなければなりません。私たち政経倶楽部は、常に相手を認め、互いに必要としあう東洋的な大局観から観想することによって、あらゆる問題についてバランスのとれた問題解決を図り、21世紀に求められる「共生文明」を創造していきます。

また、「共生文明」を理念とする私たちは、固有の歴史や伝統、言語を持つ文化・文明、民族や共同体を尊重します。生物多様性を守り、地球環境問題にも積極的に取り組んでいます。お互いの平和と発展、安全と幸福を尊ぶ「共生」の思想は、資源・エネルギー・食糧政策や外交等においても、基本となる理念です。

(2) 国民の意識レベルを向上させる「高德国家の建設」

相手を認め、お互いの平和と発展をはかる「共生文明」を実現するためには、自己の利益、私企業の利益、自国家の利益と発展を最優先とする覇権主義と決別する必要があります。徳と幸福感の高い「高德国家」を目指すという、国民レベルでの意識の改革が必要です。「高德国家」を創るのは、「おかげさま」「お互いさま」「もったいない」「お役立ち」という、相手の立ち場を尊重し、思いやる日本の心です。

「高德国家」では、健全な愛国心が自然に醸成され、国民の間にも強い絆が生まれます。「高德国家」の人材は、グローバルなビジネスや外交においても、幅広い信頼のネットワークを築き、リーダー的役割りを担っていきます。

この「高德国家の建設」を、私たちは政経倶楽部は、次の「3つのひとり立ち」を目指すことで、実現していきます。

- ①「**個人のひとり立ち**」…自由を自立、平等を公正、民主を民本、人権を尊厳と捉え直し、依存心の強い「行き過ぎた個人主義」ではなく、他者の喜びや痛みを共有できる真に自立した「個人主義」の確立を目指します。
- ②「**地方のひとり立ち**」…地方固有の文化力、歴史力、言語力、教育力、技術力、環境力などを活かした地方の自立を目指します。地方の自立は、地方分権と道州制を政策の根幹に据え、官僚主導の中央集権体制からの脱却を図っていきます。
- ③「**外交のひとり立ち**」…個人、地方、国家の「ひとり立ち」のないところに「高徳国家の建設」はありません。政経倶楽部は、外交においても、あらゆる国・地域と、対等でお互いの独立を尊重した、共存共栄の関係づくりを目指します。

(3) 世のため人のために働ける「公益経済の確立

「共生文明」を支える「高徳国家」は、「公益経済」を基本とする「進化型資本主義（新経済システム）」を基盤とする社会です。「公益経済」とは、世のため人のために働くことを「徳」とし、喜びとする社会です。

「ひとり立ち」した個人、地域社会、国家からなる「公益経済」社会は、企業や個人の創意に富んだ自由なビジネス活動や、新たな起業を応援します。そして、決断力、実行力、責任力のある人材によって、経済の血流であるお金がよりスムーズに流れる社会を実現します。成長分野への投資、弱った分野の回復・事業転換などもすばやく行われ、経済の自立的成長が促されるようになります。

また、利益至上主義を理念とする従来の資本主義は、地球環境の破壊や地域社会の破壊、格差などをもたらしました。その欠点の修正を図るポスト資本主義、進化型「公益経済」の特長は、下記の3点です。

- ① **天本主義経済** … 天地自然の働きを生かした循環型経済
- ② **地本主義経済** … 「地域経済生態系」を基本とする地産・地流・地消経済
- ③ **人本主義経済** … 人が幸せになるための互惠繁栄経済

「公益経済」とグローバル化は、相容れないものではありません。「天」「地」「人」は「公益経済」型グローバル経済の理念となります。これからのグローバル社会においても、地域と地域が連携した「循環型経済」「地産・地流・地消」「互惠繁栄」の3つのキーワードは、経済の指針となっていくでしょう。

こうした「公益経済」社会を確立するため、私たち政経倶楽部は、特に保育・教育・統合医療・介護・環境・交通・農業などの分野を21世紀の「公益成長産業」と定め、その充実と発展に力を入れていきます。

失業者をなくし、耕作放棄地・空室・空き地・遊休設備などの有効な活用を促すことも、「公益経済」社会における重点的な施策の一つになります。

活動の3つのビジョン

政経倶楽部は、3つのビジョンを持って、「日本創生」に邁進します。

- (1) 政経倶楽部は、日本のみならず世界を託すことのできる「1000人の坂本龍馬」を育て、国政の場に送り込むことで総理大臣を輩出し「日本創生」を実現します。
- (2) 政経倶楽部に集う経営者は、日本創生のため大局的視点で国家経営に参画し、社会の公器としての使命を果たします。
- (3) 政経倶楽部に集う政治家と経営者は、対等の立場で一致団結し、「日本創生」のための政策立案を行います。

活動の3つの基本方針

政経倶楽部は、日本を創生するため、「学ぶ」「伝える」「育てる」の3本柱で活動します。

学 ぶ： 日本・世界の現状を正確に把握し、そこに至る歴史的背景や考え方を学ぶと共に、日本創生のための解決策・方法を探求します。

伝 える： 現在、未来のための大局に立った政策提言を行います。あらゆる媒体を通じて、国民の一人ひとり、政治家、政治を志す人、経営者に伝えるよう努力します。

育 てる： 日本を、世界を、未来を託す事の出来る「1000人の坂本龍馬」を育てます。「日本政経連合総研」を中心に「志」ある人々と連携し、その活動地域から21世紀を見据えた人材を育てます。

また、政経倶楽部は、社員教育のノウハウと実績を持った会員が多く、活動を通じて学んだことを役立てていただくこともできます。

〈政経倶楽部 理事会・役員〉

理事長 寒竹郁夫（デンタルサポート株式会社 代表取締役）

副理事長 近藤昌之（株式会社シー・エム・シー 代表取締役）

副理事長 宮崎浩治（株式会社宮崎工業 代表取締役）

副理事長 吉田 平（旅客事業株式会社 代表取締役）

専務理事 安並 潤（井関産業株式会社 代表取締役）

幹 事 本多隆子 荒木ちよえ 山本克己 実籾富二男
竹内清之 阿部 等 塚本健三 平野義和

事務局長 坂間明彦（ファイナンシャルプランナー）

顧 問 林 英臣（日本政経連合総研理事長）

〈問い合わせ先〉

〒100-6510
東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10F
日本創生ビレッジオフィス10
デンタルサポート株式会社内

一般社団法人 政経倶楽部連合会

事務局長 坂間明彦
担 当 谷田部浩之 中込清美

電話（03）3287-7366 FAX（03）3287-7368

E-Mail info@seikei-club.jp

業務時間：10:00 - 17:00 休日：土曜・日曜・祝日

（政経倶楽部についての詳細は、下記ホームページをご参照下さい）

<http://www.seikei-club.jp>